

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年5月

埋蔵文化財センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	2頁
5	主な事業に関する調べ	3頁
6	収入証紙取扱額調べ	7頁
7	現金の取扱状況	7頁
8	財産に関する調べ	8頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	10頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	11頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	11頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	12頁
13	備品の処分状況調べ	12頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	埋蔵文化財の調査と研究	13頁
16	埋蔵文化財の普及啓発	13頁
	(1) 普及資料の発行等	
	(2) 見学(受付)者数	
	(3) 出前講演参加者数	
	(4) 普及イベントの開催	
17	埋蔵文化財関係職員等の研修	18頁
18	文化財保護の資料収集及び活用状況	18頁
19	出土品の整理及び公開状況	18頁
○	意見・要望等	20頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>契約締結の事務手続きについて</p> <p>鳥取県埋蔵文化財センター積善分館仮設整理作業棟解体委託業務契約について、遑って契約していたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要: 業者に業務を委託する前に支出負担行為を行う必要があったが、業務が完了するまでに支出負担行為を行なえばよとの誤った認識から当該業務の事務処理が遅延し、遑及適用した。 契約の相手方: A(株) 起 案 日: H30.5.9 決 裁 日: H30.5.10 契 約 日: H30.5.10 遑 り 日 数: 1か月5日 委 託 期 間: H30.4.5~H30.5.31 契 約 金 額: 3,240,000円 <ul style="list-style-type: none"> 発生の原因: 担当者及び上司の規則等の認識不足 指摘の考え方: 支出負担行為が適期に行われていない 	<p>契約事務に対する担当者の認識不足が原因である。</p> <p>再発防止のため、今後は、相手方との事務手続きの確認を徹底するとともに、不明な点は会計局に相談することを徹底した。</p> <p>また、会計処理の区切となる年度末までに処理すべき事務の一覧を作成して所内で情報共有して進捗管理を行うとともに、適正な契約事務手続きについて令和元年11月会計局開催の会計専門研修に参加し、所属内での周知徹底を図った。</p>

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和2年4月1日現在)

区分 \ 種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	1.7.5 現 在	当 該 年 度	1.7.5 現 在	当 該 年 度	1.7.5 現 在	当 該 年 度	1.7.5 現 在	
定 員	18	18	0	0	0	0	18	18	
現 員	(6)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(5)	()書きのうち、5は派遣(鳥取県教育文化財団)、当該年度の1は育児休業
	19	18	0	0	0	0	19	18	
過不足(△)	1	0	0	0	0	0	1	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	7	6	0	0	0	0	7	6	一般事務1、 出土品整理作業員6

(注) 平成元年7月の組織改正で、青谷上寺地遺跡調査整備担当が埋蔵文化財センターからとっとり弥生の王国推進課へ移管されたため、前年度には組織改正後の定員等を記載

4 役付職員の調べ

(令和2年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	北村 順一	2年 1月	
次長	舟木 真佐人	0年 1月	出納員
発掘事業室長	原田 雅弘	0年 1月	
課長補佐	中山 寧人	0年 1月	
課長補佐	君嶋 俊行	0年 1月	鳥取県教育文化財団派遣

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県の考古学情報発信事業	12,624	5,789	15	6,820
鳥取元気プロジェクト	—	—	—	—
元気づくり総合戦略	—	—	—	—
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財センターに保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用するなどして、鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信し、児童・生徒や県民の方々の郷土の歴史や地域の埋蔵文化財に対する理解を深めていくことを通して、郷土愛の醸成を図り、保存・活用につなげ、ひいては地域振興も図る。 「鳥取西道路」改築事業などの開発事業に伴う調査で出土した土器、金属製品の台帳作成、保存処理を行う。 				
(イ) 事業の実施状況				
<ul style="list-style-type: none"> 展示見学等活用事業 				
(単位:人)				
事業内容(開催場所)	R1	H30	備考	
<ul style="list-style-type: none"> 施設見学、体験学習 ①施設見学、火起こし体験学習(当センター) ②古代まつり(東部・中部) ③夏休み、冬休みイベント(当センター) ④県立図書館での体験学習(県立図書館) 	1,409 (349) (800) (260) —	959 (69) (620) (245) (25)	<ul style="list-style-type: none"> 中部で古代まつりを新たに組み込むなどした。 	
(17~19頁「(4)普及イベントの開催」参照)				
<ul style="list-style-type: none"> 展示 ①常設展示(当センター) ②企画展示(当センター) 5回 ③大型商業施設での出前展示 2回 	2,477 (983) (767) (727)	1,266 (363) (136) (767)	<ul style="list-style-type: none"> センター企画展示を通年化した。 	
(19~20頁「(2)出土品の展示公開」参照)				
<ul style="list-style-type: none"> 講演会 ①連続講座「鳥取まいぶん講座」 9回 ②調査研究成果報告会(当センター) 	3,042 (323) (68)	1,405 (173)	<ul style="list-style-type: none"> 連続講座を定着させた。 調査研究成果報告会を新たに組み組んだ。 全国的に関心が高い中世城館のフォーラムを開催した。 出前講座・授業のPRを積極的に行った。 	
(17~19頁「(4)普及イベントの開催」参照)				
<ul style="list-style-type: none"> ③考古学フォーラム(とりぎん文化会館) 「戦国時代の転換点 3つの籠城戦を読み解く」 1回 	(403)	(142)		
(17~19頁「(4)普及イベントの開催」参照)				
③出前講演 42回(32回)	(1,798)	(874)		
④出前授業 9回(4回)	(450)	(216)		
<ul style="list-style-type: none"> イベント 史跡等活用イベント 9回 	482	255	<ul style="list-style-type: none"> 地元市町・団体とも連携を図りながら史跡の現地案内や調査研究個所での現地説明を行った。 	
(古代山陰道:鳥取市青谷町地内ほか(3回開催)) (県史跡天神山城跡:鳥取市湖山) (金田瓦窯・小松城ウオーク) (狗戸那城ウオーク) (鶴尾城ウオーク) (鳥取城関連ウオーク) (河口城ウオーク) (大崎城跡:鳥取市小沢見) (国史跡因幡国庁跡:鳥取市国府町)	(254) (38) (37) (33) (38) (30) (52) — —	(102) (51) (64) (38)		
(17~19頁「(3)普及イベントの開催」参照)				
合計	7,410	3,885		

・出土資料等の再整理・復元・公開を実施した。

再整理・復元出土品数：土器 76点 木製品 1,000点
(20～21頁「(3)出土品等の貸出」参照)

・市町村等への支援

活用イベントの支援、出土品等の貸し出し、豪雨被害のあった県史跡金田瓦窯等の試掘調査に技術的支援を行った。

・普及資料刊行事業

普及冊子「調査研究紀要11」、「戦国時代の転換点3つの籠城戦を読み解く」、「戦国の因幡武田と鹿野城」を刊行した。

・歴史授業(小・中・高校)への支援

教育センターと連携して教員研修を開催した。

授業づくりについて相談のあった学校と連携して授業づくり、授業実施を行った。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

・当センターが実施した発掘調査、調査研究の成果を県民に知っていただくため、成果報告会を開催した。

・企画展示と連続講座を通年化した。(土日臨時開館)

・地元市町と共催で古代まつり(センター・中部)を開催した。

・従来のチラシ配架に加え、ホームページやフェイスブックでイベント等の情報や調査研究の成果を積極的に紹介した。

ウ 成果及び効果

・ホームページ等の閲覧者が増加した。

・センターへの来館者、イベント等への参加者が増加した。

・市町村や地元団体と共催イベントを実施することで、意識が高まってきた。

エ 課題

・一般来館者は増加したが、交通手段の確保等の問題もあり、見学学校の校数は少ないままである。

・文化財の普及啓発を通じて、保存・活用を図り地域振興にもつなげていくことは、県だけでなく市町村等にも共通テーマであるが、市町村等によって温度差がある。

・より効果的に情報発信し、保存・活用意識を高め、地域振興を図っていくためには、史跡等の価値付けを図る必要がある。

(単位:千円)

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
古代山陰道(青谷地域)の調査研究事業	4,272	2,082		2,190
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷上寺地遺跡や青谷横木遺跡の道路遺構など、青谷地域の古代山陰道の調査研究を推進し、学術的な価値付けをすることで、地域振興や観光振興に活かす。 ・国史跡指定による更なる価値付けを目指し、青谷の新たな魅力発信につなげる。 				
(イ) 事業の実施状況				
○現地踏査				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷東側丘陵で現地形に残る道路痕跡を調査する現地踏査を実施した。 				
○発掘調査				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷東側丘陵の養郷新林遺跡の発掘調査を実施し、古代山陰道の道路遺構を確認した。 ・青谷平野の善田傍示ヶ崎遺跡の発掘調査を実施し、古代山陰道の道路遺構を確認した。 				
○現地説明会・ウォーキング				
<ul style="list-style-type: none"> ・養郷新林遺跡の発掘調査成果を一般公開する現地説明会を開催した。 ・ウォーキングイベント「あおいち古代山陰道ウォーク2019」を開催した。 				
(鳥取地域にぎわい創出委員会が主催する「あおいち」と連携)				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> ・現地踏査に基づき、遺構の保護を図りながら必要最低限の発掘調査を行った。 ・HPやフェイスブック等を活用した調査成果のタイムリーな情報発信を行った。 				
ウ 成果及び効果				
○現地踏査				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷東側丘陵において大規模な切通しなどの道路痕跡が長さ700mにわたり現地形に残されていることを確認した。 				
○発掘調査				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷東側丘陵の養郷新林遺跡では、丘陵尾根上を延びる幅9mもの大規模な道路遺構を発見した。道路遺構は青谷横木遺跡から続く古代山陰道と考えられ、峠を通る古代官道は全国的にみても発見事例が無く極めて重要な発見となった。 ・青谷平野の善田傍示ヶ崎遺跡では、盛土でつくられた大規模な道路遺構を発見した。青谷上寺地遺跡と青谷横木遺跡を結ぶ古代山陰道のルートを明らかにするうえで重要な成果が得られた。 ・調査成果を受け、文化庁主任調査官からは青谷の古代山陰道は国史跡に十分に値するとの評価を得た。 				
○現地説明会・ウォーキング				
<ul style="list-style-type: none"> ・あおいち古代山陰道ウォークには県内外から約60名(申し込み時は定員を上回る)の参加者があった。 ・2月16日に開催した養郷新林遺跡の現地説明会では県内外から、161名もの参加者があった。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷の東西両丘陵において現地踏査や発掘調査を継続して行う必要がある。 ・国史跡指定に向け、県と鳥取市が連携した取り組みが必要である。 ・青谷上寺地遺跡の史跡整備や普及活用等とも連携した取り組みが必要である。 				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取西道路出土木製品調査研究事業	6,845	1,865	10	4,970
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取西道路の改築に伴う発掘調査で出土した、コンテナ約5,000箱に及ぶ木製品の保存処理と調査研究を行い、古くから豊かな森林資源を背景に育まれた本県の歴史や地域間交流、暮らしなどを、「木の文化」通じて解明するとともに、地域振興にも活かしていく。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 木製品の状態把握と調査研究、保存処理の優先順位を決めるトリアージ作業を約12,000点実施した。 木製品の保存処理について、自前でPEGとトレハロースによる2種の方法で実施した。また一部優品については、業者委託により実施した。合計で約1,000点の保存処理を完了させた。 樹種同定による環境復元や年代測定を、鳥取大学等との共同研究で実施した。 出土木製品の復元品や縄文時代の大径木の展示を、林業試験場との連携で実施した。 出土木製品をモチーフにした作品や縄文時代の大径木を用いた作品を、県内在住の木工職人に依頼して製作し、展示した。 <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークセンターに依頼することにより、トリアージ結果のデータ入力の効率化を図った。 恒温器を1台購入するとともに、県産業技術センターから2台を無償で譲り受けることにより、3台体制でトレハロースによる保存処理点数の増加を図った。 林業関係のイベントでの出土品の展示や、林業試験場との連携による復元品の製作など、他部署との連携を積極的に図った。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> トリアージについて、昨年と同程度達成できた。 トリアージ結果のデータは、トリアージした点数の約8割を入力した。 恒温器の導入により、保存処理点数は当初見込み(約800点)よりも増加した。 林業関係のイベントでは、林業試験場との連携で製作した復元品などを展示し、ブース内で154名の入場があった。また、県立博物館で行った青谷上寺地遺跡の展示にあわせて、鳥取西道路の発掘調査で出土した木製品と県内在住の木工職人に製作してもらった作品の展示を行い、アンケートでも好評を得ている。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> トリアージ及び保存処理は計画通りに進んだが、調査研究についてほとんど実施できていない。 青谷横木遺跡出土品は、国の重要文化財指定候補になっており、保存処理と調査研究を早期に進めるため、整理作業員数の増加が必要。 史跡青谷上寺地遺跡の整備とも連携しながら情報発信を行うことが必要。 				

6 収入証紙取扱額調べ
 有 ・ (無)

7 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(令和2年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
物品売払収入	242,708	130	書籍販売代金
雑入	8,740	24	販売書籍送料
合計	251,448	154	

イ つり銭の状況

(令和2年3月31日)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)
		10,000

8 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	5,720.49	70,500,864	増加	H						5,720.49	70,500,864	
					減少	H								
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	5,722.00	-	増加	H						5,722.00	-	
					減少	H								
行政財産	埋蔵文化財センター積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	9,407.14	-	増加	H						9,407.14	-	
					減少	H								
	埋蔵文化財センター美和分室	鳥取市源太90	7,900.00	-	増加	H						7,900.00	-	
					減少	H								
計			28,749.63	70,500,864			0.00	0			28,749.63	70,500,864		
合計			28,749.63	70,500,864			0.00	0			28,749.63	70,500,864		

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	1,419.26	-	増加	H						1,419.26	-	
					減少	H								
	埋蔵文化財センター秋里分室	鳥取市商栄町390番地	1,895.00	6,600,000	増加	H						1,895.00	6,600,000	
					減少	H								
行政財産	埋蔵文化財センター青谷調査室	鳥取市青谷町青谷667番地	39.83	5,993,400	増加	H						0.00	0	組織改正によるもの
					減少	R1.7.5	39.83	5,993,400						
	埋蔵文化財センター積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	2,099.19	-	増加	H						2,099.19	-	
					減少	H								
	埋蔵文化財センター美和分室	鳥取市源太90	1,806.68	20,547,057	増加	H						1,806.68	20,547,057	
					減少	H								
計			7,259.96	33,140,457			△ 39.83	△ 5,993,400			7,220.13	27,147,057		
合計			7,259.96	33,140,457			△ 39.83	△ 5,993,400			7,220.13	27,147,057		

- ウ 山林 該当なし
- エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和2年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
23 枚	0 枚	0枚 0円	23 枚

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし
イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産 の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考	
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名		
行政財産	鳥取県東部 ろうあ協会の 活動拠点	鳥取市国府町 宮下1262番地	40.00㎡	H31.4.1	H28.10.29	H31.4.1 ~ H32.3.31	月額・年額 0	本年度の貸付(使用)料 0	鳥取市赤坂8丁目7-4 鳥取県東部ろうあ協会会 長	18-00333255		
計												
合計												

(2) 物品

(令和2年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考		
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名					
青谷上寺地遺跡 出土品レプリカ	1点		R1.10.5 ~ R1.11.7	月額・年額 0	0	兵庫県朝来市東町大月 91番地2 朝来市教育委員会事務局	朝来市埋蔵文化財センター (兵庫県朝来市東町大月91 番地2)	2019年度朝来市埋蔵文化 財センター特別展におい て展示するため				
土器パズル	1点		R1.9.9 ~ R1.12.27	月額・年額 0	0	鳥取市富安2丁目138- 4 鳥取市教育委員会	スタジオ三十三(京都市伏 見区武田松林町11番地)	土器パズル作成のため の型及び彩色の参考と して				
計												
合計												

10 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先		備考
						借受期間	単価	借料(円)	住所名	
建物	RC3階	遺物収蔵庫	鳥取市吉岡温泉町789-1	902㎡	有	H30.4.1 ～ H35.3.31	月額・年額	免除	鳥取市尚徳町116 鳥取市 鳥取市長 深澤義彦	
合計										0

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積(m ²)	貸付(使用)料(月額)	
			(円)	(円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地(センター本所)	12.5		3,183
	〃	12.5		4,000

(2) 減免の考え方
該当なし

(3) 使用料の見直し
令和元年10月1日実施

12 寄附物件の受納状況調べ

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額	寄附申込	寄附申込者	受納	受納手続の有無	備考
				年月日		年月日		
デスクトップパソコン 及び周辺機器一式	HP ProDesk600 G2 SF/CT他	1	71,400	R2.1.16	株式会社モ リックス ジャパン	R2.1.23	有	
"	"	1	71,400	"	"	"	有	
"	"	1	71,400	"	"	"	有	
合計		3	214,200					

13 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定年月日	処分				備考
			売払棄却 の別	売払方法・棄却理由	処分 年月日	売払額・ 処分費用	
実物投影機他 ウチダCO-28u他	S57.6.11	R1.9.5	棄却	修理不能のため	R1.9.27	円 69,120	その他の廃棄物と共に 処分
写真機他 ニコンFM2他	S57.6.8	R1.10.9	売却	修理不能のため	R1.10.9	16,300	インターネットオークシ ョンで売却
合計						85,420	

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有 ・ 無

(2) 物品の照合

有 ・ 無

1.5 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積	内容・成果等
		調査期間	
養郷新林遺跡 (鳥取市青谷町内)	・青谷平野で見つかった古代山陰道の、平野周辺でのルート の 説明を図る。	117㎡	青谷平野東側丘陵において、丘陵上を400mにわたって続く道路跡を確認した。
令和元年11月5日 ～令和2年1月16日			
善田傍示ヶ崎遺跡 (鳥取市青谷町内)		24.7㎡	青谷上寺地遺跡と青谷横木遺跡で確認した古代山陰道をつなぐ位置で、道路跡を確認した。
令和2年1月24日 ～2月27日			

(2) 出土品整理作業・報告書作成作業

遺跡名	調査目的	作業内容
養郷新林遺跡 善田傍示ヶ崎遺跡 (鳥取市青谷町内)	・出土品を調査研究し、古代山陰道がつくられた年代等を明らかにする。	出土した遺物の図化、写真撮影等の整理作業及び今年度(R1)の概要報告書を作成した。報告書は、次年度調査分も合わせて次年度に刊行する予定。

(3) 出土品の調査研究

○鳥取西道路関連遺跡出土木製品の調査研究

鳥取西道路関連で出土した木製品(約80,000点)の再整理に関連し、令和元年度は、約12,000点の木製品について調査研究及び保存処理の優先順位を決めるトリアージ作業を実施した。過年度のトリアージ作業により保存処理が必要とされたものの内、約1,000点の木製品について保存処理を実施し、中でもトレハロースによる保存処理については、センター内でその処理法の確立を図りながら、処理点数の向上にも努めた。また、墨書のある木簡や人形などの優品7点については、業者委託による保存処理を行った。

さらに、樹種同定による環境復元や年代測定を、鳥取大学等と共同研究の形で行った。鳥取大学の中原計准教授との共同研究では、弥生時代から中・近世の木製品161点の樹種同定を実施し、長期間にわたる県内の自然環境の変化と樹種の選択の変化についてのデータを得ることが出来た。また、名古屋大学の中塚武教授との共同研究では、本高弓ノ木遺跡の縄文・弥生移行期における貯木場出土木材の年代測定を実施し、約3,000年前から2,500年前という測定結果が得られたことから、貯木場が長期間使用されていた可能性がでてきた。

活用面では、林業関係イベントでの展示を初めて実施した。その際、林業試験場との連携で建築材の復元品を製作し、展示した。また、遺跡から出土した約2,700年前のケヤキ材の研磨についても林業試験場の協力をあおぎ、現在当センターで展示している。

さらに県内の木工職人に、先述したケヤキ材を使用した木製品の製作を依頼し、出来上がったものを、県立博物館で開催した青谷上寺地遺跡の展示で、鳥取西道路関連遺跡で出土した木製品と共に展示し、好評を得た。

この他、県立博物館の常設ミニコーナー「歴史の窓」で、「いにしへの祈りの風景」と題した展示を行い、保存処理を実施した木製品を中心に、神道や仏教関係の遺物を展示した。

1.6 埋蔵文化財の普及啓発

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂

市町村単位で遺跡地図の更新(年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録)を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布した。

イ 図書の刊行

名 称	内 容 等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
鳥取県埋蔵文化財センターのあゆみ	知事部局への移管という大きな画期に合せ、当センター設立までの経緯と昭和57年6月設立以来の調査、研究、普及事業の歩みをまとめた冊子。	110冊	40冊	
調査研究紀要11	文化財専門職員が県内埋蔵文化財を調査研究した成果をまとめた冊子。県内外にPRするため調査機関、図書館等に配布。	350冊	50冊	
戦国時代の転換点 3つの籠城戦を読み解くー安芸郡山城・出雲月山富田城・因幡鳥取城ー	令和元年9月1日に開催したとっとり考古学フォーラムの記録集。戦国期の因幡伯耆に大きな影響を与えた中国地方の籠城戦、安芸郡山合戦、出雲月山富田城籠城戦、鳥取城籠城戦の帰趨を取り上げたもの。主に県内図書館に配布。	120冊	280冊	
戦国の因幡武田と鹿野城〜ひと・もの・歴史再評価〜	当センターで実施している中世城館再調査事業成果の概要報告。戦国末期の地元の武将（武田・南条）の動向や関連する中世城館、織田毛利戦争で境目となった鹿野地域に関連する城館について文献、史資料、絵図、現地踏査等による調査研究成果をまとめたもの。主に県内図書館、資料館に配布。	140冊	160冊	

ウ フェイスブック、ホームページでの遺跡情報発信
遺跡の発掘調査や出土品・展示会の情報を逐次発信している。

(2) 見学（受付）者数

(令和2年3月31日現在)

(単位：人、校、件)

一般（個人）	団 体		
983人	団体のうち学校の利用（小学校）	3校	(299人)
	（中学校）	1校	(30人)
	（高等学校）	校	(人)
	（特別支援学校等）	2校	(13人)
	学校を除く各種団体の利用	1件	(7人)
			合計349人

(3) 出前講演参加者数
県内出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
湯梨浜町	砂に埋もれた大集落 ～長瀬高浜遺跡の紹介～	20名
さわやか会館	チョコレートで鑄造体験	15名
日吉津村	チョコレートで鑄造体験	10名
鳥取市立末恒小学校	弥生時代の文化を知ろう ～まが玉づくり～	47名
岩倉地区公民館	郷土の歴史発見	36名
鳥取県教育文化財団	(概説)鳥取県の中世土器について	21名
鹿野地区公民館	戦国の知将 亀井 茲矩	21名
あおば地区公民館	郷土の歴史発見	37名
まなびタウンとうはく	考古学の基礎の基礎	12名
西郷小学校 西郷公民館	チョコレートで鑄造体験	80名
遷喬地区公民館	檜扇(扇子)をつくろう	16名
稲葉山地区公民館	勾玉×組み紐ストラップづくり	16名
末恒地区公民館	弥生の琴作り	16名
まなびタウンとうはく	基礎から分かる県内中世城館～お城へGO!～	12名
三朝町	東郷池周辺の歴史と環境	25名
鹿野地区公民館	チョコレートで鑄造体験	14名
松保地区公民館	郷土の歴史発見	43名
國學院院友会	古代山陰道にみる土木技術ー青谷横木遺跡の調査結果からー	120名
まなびタウンとうはく	戦国の知将亀井茲矩	13名
鹿野地区公民館	亀井暁・横木遺跡・川六の作品を訪ねる	11名
まなびタウンとうはく	湖山池と遺跡変遷	10名
産業技術センター	食べれる鏡を作ろう	50名
まなびタウンとうはく	郷土の歴史発見	8名
末恒地区公民館	大崎城ウォーキング	67名
米子市文化財団	会見郡衙と製鉄遺跡	25名
鳥取市	(講義)古代山陰道と青谷横木、(実習)扇子作り体験	13名
まなびタウンとうはく	東郷池周辺の歴史と環境	15名
城北地区公民館	チョコレートで鑄造体験	18名
まなびタウンとうはく	日本海を望む「倭の国巴」妻木晩田遺跡	20名
まなびタウンとうはく	考古学の基礎の基礎(1)	25名
大正地区公民館	チョコレートで鑄造体験	15名
さわやか会館	チョコレートで鑄造体験	13名
大和地区公民館	チョコレートで鑄造体験	17名
島根県古代文化センター	山陰における古代交通の研究	23名
まなびタウンとうはく	青谷上寺地遺跡を知る	10名
智頭町総合センター	因幡・伯耆の古城探訪	20名
勝谷地区公民館	乙亥正屋敷廻遺跡について	65名
まなびタウンとうはく	因幡・伯耆の役所と古代寺院	8名

県外出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
島根県	鳥取県域にみる縄文時代の小地域	30名
大阪府	鳥取にしえの木の文化～出土木製品が語る人々の暮らし～	60名
大阪府	第2回「発掘された因幡～最古の前方後円墳と、木簡が語る古代因幡」	240名
岡山県	西日本における縄文時代の水場遺構	36名

(4) 普及イベントの開催

イベント名	開催日/会場	実施内容	参加者数
埋蔵文化財センター古代まつり	R1. 8. 3 /埋蔵文化財センター	模擬発掘体験やパズル土器タイムトライアル、弥生の漁師になろう!!など、様々な体験型イベントを来場者に体験していただき、考古学の楽しさに触れていただいた。なお、東部の市町と共同で実施した。	450人
来て！見て！！さわって！！とっとり考古学講座	R1. 7. 26～7. 28 /イオン鳥取北 R1. 9. 13～9. 16 /パープルタウン	「西因幡の遺跡」をテーマに、パネルや出土品の展示を行い、近年発見された遺跡や資料を紹介した。また、タッチングコーナーでは本物の縄文土器や石器などに触ってもらい、土器パズル体験コーナーも実施した。	556人/ 171人
古代まつりin倉吉	R1. 9. 21 /倉吉未来中心 アトリウム	初めて中部を会場にして、古代の缶パッチづくり、古代の瓦石けんづくり、古代の扇子づくりなどの体験型イベントを来場者に体験していただいた。なお、倉吉市教育委員会と共催、中部の各町の協力を得て実施した。	350人
未来への家づくりフェア	R1. 9. 14 /美保南体育館	調査で明らかになった全国最長の「地中梁」をパネルで紹介するとともに、縮小模型や実物大模型を展示した。また、建築や木材に関わる体験コーナーを実施し、体験していただいた。	154人
夏休み子どもイベント・自由研究相談	R1. 8. 18、8. 25 /埋蔵文化財センター	夏休み中の子ども向けに、赤外線を使った実験や保存処理の体験とともに、自由研究相談や古代体験を行った。	33人
冬休みイベント	R1. 12. 21～12. 28 /埋蔵文化財センター	冬休み中の子ども向けに、組紐づくりなどの古代体験や忍者になって手裏剣投げのコーナーなどを実施した。	109人
鳥取まいぶん講座 第1回 湖山池と遺跡の変遷	R1. 4. 20 /埋蔵文化財センター	鳥取西道路建設に関わる発掘調査で新たな発見が相次いだ湖山池南岸地域の遺跡のうち、縄文時代から古墳時代の遺跡について解説した。	22人
鳥取まいぶん講座 第2回 湖山池南岸の遺跡と歴史Ⅱ	R1. 5. 18 /埋蔵文化財センター	鳥取西道路建設に関わる発掘調査で新たな発見が相次いだ湖山池南岸地域の遺跡のうち、文字資料や木製祭祀具が大量に発見された古代～中世の遺跡について解説した。	18人

鳥取まいぶん講座 第3回 西因幡の遺跡と歴史	R1. 6. 15 /埋蔵文化財センター	鳥取西道路建設に関わる発掘調査で新たな発見が相次いだ西因幡（旧気高郡）の遺跡について解説した。	28人
鳥取まいぶん講座 第4回 乙亥正屋敷廻遺跡の発掘調査から	R1. 7. 20 /埋蔵文化財センター	鳥取西道路建設に関わる発掘調査で青谷上寺地遺跡と並ぶ重要な出土品が出土した乙亥正屋敷廻遺跡について解説した。	38人
鳥取まいぶん講座 第5回 見えないものを見る /発掘調査の科学技術（木材の保存科学・文化財の計測）	R1. 8. 17、18 /埋蔵文化財センター	埋蔵文化財に関わる様々な科学技術（赤外線、保存科学、計測技術等）について解説した。	21人 /18人
鳥取まいぶん講座 第6回 岡山県南山城遺跡の発掘調査から	R1. 9. 21 /埋蔵文化財センター	城館全体の発掘調査が進行していた岡山県南山城の最新の発掘調査成果について担当者に解説していただいた。	29人
鳥取まいぶん講座 第7回 島根県普源田砦遺跡の発掘調査から	R1. 10. 19 /埋蔵文化財センター	近年調査が行われた島根県普源田砦遺跡のほか、発掘調査された島根県内の中世城館について解説していただいた。	20人
鳥取まいぶん講座 第8回 東伯耆の中世城館	R1. 11. 16 /埋蔵文化財センター	秀吉の因幡侵攻に関わると推定される東伯耆の中世城館について、地元の研究者に解説していただいた。	44人
鳥取まいぶん講座 第9回 因幡の中世城館	R1. 12. 21 /埋蔵文化財センター	秀吉の因幡侵攻に関わる西因幡の中世城館について解説した。	74人
考古学フォーラム 戦国時代の転換点 3つの籠城戦を読み解く 一安芸郡山城・出雲月山富田城・因幡鳥取城一	R1. 9. 1 /とりぎん文化会館小ホール	毛利方と織田方が激突する境目だった中国地方の、安芸郡山城、出雲月山富田城の籠城戦と、秀吉の因幡攻めについて、地元の研究者に解説していただき、戦国時代における転換点を考えるフォーラムを開催した。	403人
調査研究成果報告会	R2. 2. 14、15 /埋蔵文化財センター	センター各職員が、埋蔵文化財の価値付けや保護・活用をより促進するために、テーマを決め、県内外の遺跡・遺物から得られる情報を基に日々研究を重ねている成果を報告した。	68人
金田瓦窯・小松城ウォーク	H31. 4. 27 /南部町金田地区	金田瓦窯と小松城を中心とする地域のウォーキングを行うなかで、それぞれの遺跡について解説した。	37人
風雲！天神山城	R1. 6. 23 /鳥取市天神山城	戦国武将になって、天神山城でさまざまなゲームを行いながら城について学ぶイベントを開催した。	38人
古代山陰道ウォーク in 琴浦	R1. 9. 28 /琴浦町斎尾廃寺周辺	琴浦町内の古代山陰道推定地をめぐりながら、周辺の斎尾廃寺や大高野官衙遺跡などの解説を行った。	33人
古代山陰道ウォーク in あおいち	R1. 10. 6 /鳥取市青谷町養郷地区	古代山陰道が見つかった青谷横木遺跡のほか、大規模な切通しが見つかった周辺の丘陵を歩いて解説した。	60人
狗戸那城ウォーク	R1. 10. 12 /鳥取市鹿野町鷺峰	曲輪や切岸、横堀・堅堀がよく残る山城を歩き、解説した。	33人
鶴尾城ウォーク	R1. 10. 26 /鳥取市玉津	因幡の戦国武将武田高信の居城として知られる山城を歩き、解説した。	38人

鳥取城関連ウォーク	R1. 11. 9 /鳥取市西町	鳥取城西麓の「西坂」と呼ばれる地区の戦国時代の遺構を歩き、解説した。	30人
海の城ウォーク	R1. 11. 30 /湯梨浜町泊	海を望む立地にあり、秀吉方の水軍によって落城した湯梨浜町河口城を歩き、解説した。	52人

1 7 埋蔵文化財関係職員等の研修

(単位：日、人)

研修名	計 画 (A)			実 績 (B)			(B) - (A)		内 容 及び会 場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
基礎研修	R1. 6. 25	1	10	R1. 6. 25	1	8		△2	〈内容〉新規採用や経験の浅い市町村の埋蔵文化財担当者を対象とした研修。発掘調査後の整理作業において必要な知識や技術の習得を図った。 〈会場〉鳥取県埋蔵文化財センター
発掘技術 検討課程	R2. 3. 25	1	30	中止					〈内容〉講義を通して、発掘調査や整理作業などにおける基礎的な知識や技能の習得を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 〈会場〉埋蔵文化財センター
合 計	-	2	40	-	1	8	△1	△32	

1 8 文化財保護の資料収集及び活用状況

- ・とっとり遺跡MAPを作成し、公開した。

1 9 出土品の整理及び公開状況

(1) 土器の復元及び木製品の再整理

- ・展示するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元した。(2遺跡 76点)
- ・収蔵している木製品の保存性をより高めるため再整理作業を実施した。(2遺跡 1,000点)

(2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会 場	会 期	内 容
埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	H31. 4. 1 ~R2. 3. 31	埋蔵文化財センターの収蔵品である豊成叶林遺跡、青谷上寺地遺跡、桂見遺跡、青谷横木遺跡、長瀬高浜遺跡、本高古墳群などの出土品を展示し、来所者へ向け県内の遺跡について情報発信をした。
発掘されたとっりの土木技術	鳥取県建設技術センター	R1. 7. ~R2. 3. 31	県内の発掘調査成果から明らかとなった、弥生時代~古墳時代の土木技術について、パネルと出土品で展示・紹介した。

来て！見て！！さわって！！とっとり考古学講座	東部展 イオン鳥取北店 中部展 倉吉パープルタウン	R1. 7. 26 ～7. 28 R1. 9. 13 ～9. 16	「西因幡の遺跡」をテーマに、パネルや出土品の展示を行い、近年発見された遺跡や資料を紹介した。また、タッチングコーナーでは本物の縄文土器（3000年前）や石器などに触ってもらい、土器パズル体験コーナーも実施した。
企画展示 湖山池南岸の遺跡	鳥取県埋蔵文化財センター	R1. 4. 19 ～6. 1	鳥取西道路建設に伴う発掘調査で発見された、湖山池南岸地域の遺跡とその出土品を紹介した。
企画展示 西因幡の遺跡	鳥取県埋蔵文化財センター	R1. 6. 14 ～7. 20	鳥取西道路の建設に伴う発掘調査により、重要な発見が相次いだ西因幡地域の遺跡について、縄文時代から中世までの出土品を紹介した。
企画展示 埋蔵文化財を科学する	鳥取県埋蔵文化財センター	R1. 8. 3 ～R1. 8. 25	埋蔵文化財に関する科学的な調査や、保存処理などについて展示紹介した。
企画展示 中国地方の中世城館	鳥取県埋蔵文化財センター	R1. 9. 2 ～10. 25	近年発掘調査が行われて全体像が明らかになった中世城館を中心に、鳥取と関係深い山名氏や尼子氏関係の城館など、中国地方（岡山、島根、兵庫北部）の城館跡出土資料を展示・紹介した。
特別開館「因幡万葉の時代」	鳥取県埋蔵文化財センター	R1. 11. 3	発掘調査で明らかになった古代の因幡について、紹介した。
企画展示 因幡・伯耆の中世城館	鳥取県埋蔵文化財センター	R1. 11. 4 ～12. 27	鳥取県の中世城館について、発掘調査や測量、踏査などにより明らかになった姿を、伯耆、因幡に分けて展示紹介した。
青谷上寺地遺跡の世界	鳥取県立博物館	R2. 3. 15 ～3. 28	重要文化財に指定された青谷上寺地遺跡の資料に関連し、青谷地域の古代山陰道の調査速報や鳥取西道路関連発掘調査出土木製品の調査研究成果の展示を行った。

(3) 出土品等の貸出

ア 展示への貸出

貸出先	貸出物
大阪府立弥生文化博物館	鳥取西道路関連調査 出土遺物及びレプリカ資料・青谷上寺地遺跡 出土遺物及びレプリカ 243点
島根県立古代出雲歴史博物館	下市築地ノ峯東通第2遺跡 炉底塊・殿河内ウルミ谷遺跡 板屋型羽口・殿河内ウルミ谷遺跡 椀形鍛冶滓 3点
朝来市教育委員会	青谷上寺地遺跡出土品 9点
倉吉西高等学校	火起こし道具一式 10セット
鳥取市立逢坂小学校	鳥取市桂見遺跡出土縄文土器鉢ほか6点
鳥取市立岩倉小学校	大山町大塚岩田遺跡出土弥生土器壺ほか9点
鳥取市立河原中学校	鳥取市桂見遺跡出土縄文土器深鉢ほか7点
鳥取県立鳥取西高等学校	縄文土器深鉢（桂見遺跡出土）ほか13点
琴浦町教育委員会	火起こしセット 2セット
智頭町教育委員会	火起こし道具一式 10セット
島根県立八雲立つ風土記の丘	大柵遺跡出土遺物ほか109点
鳥取市教育委員会	土器パズルの型1点・土器パズル（器台）1点計2点
琴浦町教育委員会	火起こし道具 一式 2セット
琴浦町教育委員会	火起こし道具 一式 2セット
倉吉西高等学校	火起こし道具一式 10セット

鳥取県立博物館	梅田萱峯遺跡出土ナイフ形石器等・桂見遺跡丸木舟 計36点
---------	------------------------------

イ 写真ネガ等の貸出

貸出先	貸出物
鳥根県立古代出雲歴史博物館	下市築地ノ峯東通り第2遺跡 製鉄遺構ほか 3点
鳥根県立古代出雲歴史博物館	殿河内ウルミ谷遺跡 椀形鍛冶滓 1点
株式会社はる制作室	本高古墳群・本高14号墳 1点
株式会社 ユニフォトプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺型土器 1点
株式会社キャデック	上福万遺跡出土押型文土器 1点
大阪府立弥生文化博物館	有茎小頭器ほか 155点
鳥取県立公文書館	下市築地ノ峯東通第2遺跡窯2ほか 1点
株式会社グレイル	本高弓ノ木遺跡(14号墳)・14号墳埋葬施設3出土玉類・内行花文鏡1 3点
鳥根県立八雲立つ風土記の丘	秋里遺跡SE1出土木製井戸枠ほか 51点
指宿市考古学博物館	桂見遺跡出土の縄文時代の丸木舟 1点
株式会社 ユニフォトプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺型土器 1点
株式会社グレイル	本高弓ノ木遺跡(14号墳)・14号墳出土の小型仿製内行花文鏡・勾玉・管玉 3点
株式会社神戸新聞総合印刷	青谷横木遺跡人形木簡 1点
株式会社 ユニフォトプレスインターナショナル	桂見遺跡出土壺型土器 1点
鳥取県立公文書館	本高14号墳埋葬施設3出土内行花文鏡ほか 56点
金沢大学資料館	金沢坂津口遺跡出土箕 1点
朝来市教育委員会	青谷上寺地遺跡8ほか 6点

○ 意見、要望等

- (1) 業務に関する意見・要望等 無し
- (2) 監査委員事務局に対する要望等 無し